

「子ども第三の居場所」は、子どもたちの生き抜く力を育みます

「子ども第三の居場所」は、地域の子どもたちが安心して過ごせる居場所です。信頼できるスタッフやお友達と日々の時間を共有する中で、子どもの生活リズムが整い、学びへの意欲も高まり、子どもたち一人ひとりの生き抜く力が育まれます。

「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指します

近年、家族の在り方や地域とのつながりの変化により、子育ての状況も各家庭の負担が大きくなってきました。子どもの幸せを願いつつも、家庭の事情などから、子育てに対する悩みを抱えるご家庭も多いことと思います。

「子ども第三の居場所」ぼんぼん拠点では、すべての子どもたち一人ひとりの生き抜く力を育み、また、家族を地域で支えるため場所として、皆様のお手伝いができればと考えています。



遊びに来てね！
待ってるよ〜！！



4つの機会

「子ども第三の居場所」では、子どもたちの生き抜く力を育むため4つの機会を提供しています。



安心

子どもたちが安心・安全に過ごせるよう、居心地のよい環境づくりに努めています。「ここに居ていいんだ」と思ってもらえるよう、まずは子どもたちのありのままを受け入れることから始めています。



生活習慣

基本的な生活習慣が身に付ける手助けをします。挨拶等の基礎的な生活習慣を整えます。また、友達や大人との関わり方を学び、社会性を培っています。



学習

学習習慣が定着するよう、毎日スタッフによる宿題指導を行なっています。分からないところまで遡った学習支援に加え、座ってられない等の課題がある子どもは情操面や発達障害の可能性も考慮して支援します。



体験

料理、音楽、アロマセラピー等の教室を通して、チャレンジ精神、自己肯定感、主体性、対人コミュニケーション等、「非認知能力」を育みます。

NPO法人ながいく

長久手市とその近隣の子育て支援を行っている、主に子育て中の父母で運営している非営利の団体です。

妊娠中から未就園児の家庭のための「子育てひろば」、放課後の小中学生のための「あそびカフェ」を中心として、不登校のときの居場所や子ども食堂などを開催しています。

協力:長久手市子ども家庭課・たつせがある課・地域共生推進課 長久手市社会福祉協議会 長久手子育て協力隊 など

活動場所:子育てシェアの家ぼんぼん・子ども第三の居場所ぼんぼん・リニモテラス公益施設・各地区共生ステーション など

●小中学生のあそびカフェ Q&A●

Q: どうして無料なの?

A: 「日本財団」の助成金により、ほとんどのイベントを無料で提供しています。(有料の場合もあります)登録料として、年度ごとに1000円かかります

Q: 子どもだけで遊べるの?

A: 登録を済ませたら、月・木曜は子どもだけでも自由に遊びに来ることができます。自分で来られる子は、予約もしなくて大丈夫ですよ。小学生以下の子は、保護者の方といっしょに利用できます。

Q: イベントには参加したくないけど、遊びたい・・・

A: 色々楽しいイベントを用意していますが、やりたくない場合もあると思います!自由に遊んだり、勉強してくださいね。予約がないと参加できないイベントもあるので、「やっぱり参加したい」ができない場合もあります。

Q: 不登校なんだけど、何時から行っても良いですか?

A: 月・木の10時くらいから、勉強したり自由に過ごしたりできます。ランチも無料です。Nハウスの前後に利用することもできますよ。

他、ご質問はLINE公式アカウント (@nagaiiku) ・電話 (0561-41-8145) ・メール (contact@nagaiiku.org) でどうぞ!

子ども・学校・生活のこと
何でも相談してみようね~

